

Hop ホップ!



さあ、勝負!



郡山第五中学校 第1学年だより

〒963-8021

郡山市桜木二丁目20番5号

TEL 024-932-5319 FAX 024-932-5320

2023.9.22 No.20

さあ、いよいよ新人戦! 新チームがんばれ!

来週26日から、郡山市中体連新人総合大会が行われます。新チームになって初めての公式戦で、種目によっては県中大会や県大会へとつながったり、来年の中体連総合大会でのシード権をかけた大会になります。今回は、1年生から選手として出場する生徒やユニフォームをもらった生徒も多くおり、ぜひチームの一員として役割を果たしてきてほしいと思います。この夏の練習の成果を思う存分発揮して、先輩から引き継いだ五中の底力を見せてきて下さい。各部の1日目の会場は次の通りです。

野球・・・日和田野球場
サッカー・・・熱海フットボールセンター
ソフトテニス・・・郡山庭球場
バスケ男子・・・西部体育館
バスケ女子・・・ユラックス熱海体育館

バレー男子・・・安積二中体育館
バレー女子・・・大槻中体育館
剣道・・・カルチャーセンター体育館
卓球・・・宝来屋郡山総合体育館
体操・・・郡山三中体育館

上記以外の部と部活に入っていない生徒は、2日間とも自習となります。プリント学習になりますが、各教科の準備もして復習を進めて下さい。残念ながら1日目に敗退し2日目は学校で自習となる部や、雨で順延のため学校で自習となる部もありますので、詳しくは各部の顧問の先生の指示をしっかりと聞いてほしいと思います。



国際理解作文で三部君、県代表に!

夏休みの課題作文のうち、「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」に応募した三部史樹君の作品が、見事県代表に選ばれました。

三部君の作品は、世界で起こっているできごとをSDGs17の課題と結びつけて自分なりに考え、意見を述べています。三部君の作品は県代表として、本選へ推薦されました。おめでとうございます。

県は20日、「第63回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」の県大会の審査結果を発表した。県代表として本選に推薦する優秀作品には、三部史樹さん(郡山五中1年)、星野さん(郡山サベリオ学園中1年)の作品を選んだ。三部さんと星野さんは、決められた三つの題目のうち、1年生は持続可能な開発目標(SDGs)の中間年。2030年までに17の国際目標から成るSDGsを全て達成するため

9/21 福島県 報新聞 より

コンテストは外務省、日本国際理解協会の主催。本選の結果発表は10月24日に日本国際理解協会のホームページ上で行われる。

県は20日、「第63回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」の県大会の審査結果を発表した。県代表として本選に推薦する優秀作品には、三部史樹さん(郡山五中1年)、星野さん(郡山サベリオ学園中1年)の作品を選んだ。三部さんと星野さんは、決められた三つの題目のうち、1年生は持続可能な開発目標(SDGs)の中間年。2030年までに17の国際目標から成るSDGsを全て達成するため

県は20日、「第63回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」の県大会の審査結果を発表した。県代表として本選に推薦する優秀作品には、三部史樹さん(郡山五中1年)、星野さん(郡山サベリオ学園中1年)の作品を選んだ。三部さんと星野さんは、決められた三つの題目のうち、1年生は持続可能な開発目標(SDGs)の中間年。2030年までに17の国際目標から成るSDGsを全て達成するため



三部史樹さん

国際理解・協力全国中学生作文
三部さん(郡山五)

県代表

飛び込み競技で千葉さん、教育長表敬訪問!

夏休みに全国中学校体育大会飛び込み競技(香川県高松市)で3位入賞を果たし、その後も全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会飛び込み競技<12~13歳の部>(大阪市)で2種目優勝、日本選手権水泳競技大会飛び込み競技(宇都宮市)に出場しシンクロ公開競技で2位入賞など、1年生ながら全国の舞台上で輝かしい活躍をしている千葉優奈さんが、三中女子バスケットボール部(全国3位)の皆さんとともに、郡山市教育長を表敬訪問し、大会結果の報告をしました。千葉さんの今後の抱負です。「シーズン中の大会はもうありませんが、12月にアジアの中高生の大会に日本代表として出場するので頑張りたいと思います。」これからも頑張ってください。



9/15 市役所にて

○ 暑さがようやく収まり、秋の気配を感じられるようになりました。今年の夏は、長く厳しい夏でしたね。過ごしやすい秋になることを願っています。明日は彼岸の中日。秋分の日です。